

特別講演会を開催しました

2025年2月26日（水）に学校の講堂にて、全学生を対象にした講演会を開催しました。

講師には、NPO 法人骨髄バンク命のアサガオにいがた事務局長の高野 由美子先生をお招きし、「命の大切さを伝えたい～つながる命」という内容で、骨髄バンクでの活動のお話を伺いました。



愛する家族と友達を残して急性リンパ性白血病のため、18歳の若さで旅経った敏行君。母の由美子さんは、息子さんが亡くなられた後、骨髄バンク説明員の資格を取得し、日本骨髄バンクの地区普及広報委員として、ドナー登録、講演活動、著書の出版など幅広く啓発活動を行われています。ご自身もドナーとして骨髄提供をされた経験をお持ちで、ご自身が体験されたこと、息子さんのこと、命についてご講演いただきました。

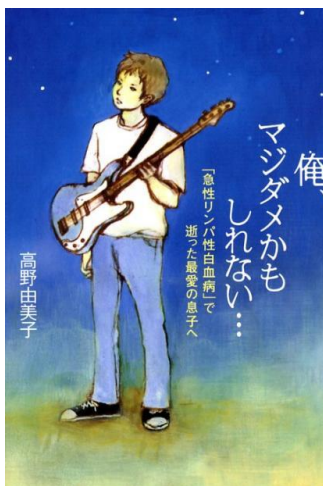
1.2年生からは、

「高野さんの『骨髄バンクに家族で過ごす大切な時間をもらった』という言葉が印象的だった。私もドナー登録したいと思った。」

「命をつなぐことの大切さを学んだ。」

「医療者が支え、希望を与え続けることが大切である。」

「長期の療養生活が必要になる中、患者さんだけでなく、患者さんを支える家族へのケアも重要になると分かった。」との声が聞かれました。



4月から看護師になる3年生からは、

「今日聞いた話を自分の身近な人に伝え、普及させていきたい。」

「命の尊さについて考え、寄り添い、向き合える看護師になりたい」

「患者さん、家族の一番近くにいる医療者として患者、生きる希望を持ち続けられるように心の支えになりたい。」との声が聞かれ、命について改めて考える貴重な機会となりました。